

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況は下げ止まり感があり、各種イベント等も若干の規模縮小傾向はあるものの、開催される見込みであるため、人の動きも現在より活発になる。
	◎	住関連専門店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、催事を積極的に行えると考えているため好況を見込んでいる。
	◎	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・商圈内の消費者や事業者は、仮に第7波が発生しても、ワクチン接種が進んでおり、し好みへの買い控えも下げ止まっていることから、外食産業以外では、さほど大きなマイナスはないと考えている。当社ショッピングセンターではシネマにおけるヒット作の有無に左右されるが、延期になっていた話題作も徐々に公開が控えている。
	◎	一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスとの共存が普通になり、これまで抑えていた消費意欲が増えていく。
	◎	観光型ホテル（専務）	・早く新型コロナウイルス感染が収まり、平常に戻ることを期待している。
	○	商店街（代表者）	・客は感染防止対策をしており、店内も感染防止に十分配慮している。2～3か月前とは違い来客数及び客単価が増加し、どん底商況から脱している。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況に人々が動じなくなっており、景気は徐々に回復すると予想される。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少しないが、この状況がこのまま継続するとは考えられず、夏のボーナスが出る3か月後は、若干景気が良くなると期待をしている。
	○	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向にあるが、食品催事の来客数の増加をみると新型コロナウイルス発生前の状況を少しずつ取り戻しており、衣料品や飲食も良くなっている。
	○	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスによる影響も減少傾向にあり、来客数や購買数は増えつつある。
	○	コンビニ（経営者）	・客の消費行動にプラスαの購入が見受けられ、客単価の増加に寄与している。今後は、新型コロナウイルス発生前の水準にいつ追い付くのが問題と考え、来客数増加に期待をしている。
	○	家電量販店（店員）	・11～12月の売上は落ちているが、今後の売上は上がっていくと予測している。
	○	家電量販店（従業員）	・新生活の需要ピークが終わり、ゴールデンウィークに向け買い控えが増加している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・このままの流れであれば、何か大きな動きをしない限りは、一向に良くならない。
	○	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・前年と比べ来客数が若干増加している。当地の特殊な要因として、海外企業の半導体工場建設で活気付いている。それに伴い、新規の客が増加しており、2～3か月先はより半導体企業の影響を受けていく。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことが一番であるが、更なる補助事業の実施に期待したい。
	○	観光型ホテル（総務）	・足下の予約状況等から、コロナ禍で敬遠されてきた宴会需要が徐々に高まっていると考えられる。感染症対策をした上で、人が集う場を取り戻そうという声が増えている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・新たな感染を恐れているため、旅行需要が完全に戻るまでには時間が掛かる。
	○	旅行代理店（職員）	・5月までの県民割に加え、その後にGo To Travelも予定されており、旅行需要の増加に期待が持てる。
	○	通信会社（企画担当）	・客先の反応や引き合いは悪くない。先の事業展開に合わせた相談も増えており、景況感に悪材料はない。
○	ゴルフ場（営業）	・まん延防止等重点措置で抑制されていた反動が出ている。国内の製薬会社でワクチン等が作られるようになり、今後は対策を十分にしておけば、外食や外出が多くなり、経済が回るようになる。	
○	学習塾（従業員）	・夏に向けて活動が増加するため、営業活動も活発になっている。	
□	商店街（代表者）	・材料や食品の値上げが継続すると予想され、このままの状況が続いていけば、イベントはできるが、客単価が伸びていくか懸念される。	
□	商店街（代表者）	・現状からは、明るい兆しが見当たらない。	

<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置が解除され今月の売上の動きが若干良くなっている。今後、上向きになるかは先行き不透明で、横ばいが継続すると予想している。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスによる自粛行動がようやく解除され、次は生活必需品の値上げに消費行動は抑えられるようになり、急速な消費回復は望めない。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・火災後の処理があり、一部では全く商売ができない商店もある。現在、一般の客は近隣のスーパーマーケットで購入しており、商店街へ足が向きにくい状況になっている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	・エネルギー関連や穀物相場等の値上げで、飲食店は特に苦しんでいる。また、テレビ報道によるウクライナ情勢や新型コロナウイルス、円安、物価高騰のニュースで消費者マインドは冷え込んだままとなっている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・新茶時期になり売上を伸ばしたいが、新型コロナウイルスの次はロシア・ウクライナ情勢の影響で、値上げ商品等もあり新茶を購入する余裕はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新変異株の発生や、それに対する政府や自治体の対応、ロシア・ウクライナ情勢等、不透明な要素が多いため、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、旅行需要が復活し、景気浮揚策としてプレミアム付商品券等の施策もある。これにより、徐々に景気が回復していくことを期待するが、大幅な改善にはつながらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・クリアランスが落ち着き、夏休み前でもあり、秋物入荷がまだ先であるため、客の需要や購買傾向は現状と変わらないと予想している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・商業施設開業やゴールデンウィークによる人出は予想されるが、直近の感染再拡大で県下の人々の動きが懸念される。そのため、地元のリテールショップや外出を伴わないギフトショップ、通信販売、インターネット受注は堅調な動きとなる。新型コロナウイルス感染拡大の抑え込み次第では来客数増加は見込めるが、急回復は難しい。一方、店頭での自家需要や、嗜好性の高い舶来雑貨・和洋酒・時計・リビング用品等は堅調である。また 購入単価や商品単価も好調に推移しているが、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少まで来客数や購買客数の増加は難しい。
<input type="checkbox"/>	百貨店（業務担当）	・ゴールデンウィークに向けてレジャー計画を立てる客は少なく、旅行の本格的な動きは一部の人たちに限られている。客の話では、飲食業のみならず新型コロナウイルスの影響で所得が減っており、行動制限とともに景気回復の足かせとなっている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経営企画担当）	・消費への意欲は、食料品や衣料品共に上向いている。世界情勢等で関連した値上げの動きが各所で高まっており、今後の消費動向に影響を与える懸念がある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・更なる物価上昇により、家計支出は抑えようとする動きが出てくる。一方で、新型コロナウイルス新規感染者数は高止まりしているが、まん延防止等重点措置等は適用されていないため、ゴールデンウィークを迎え人流が多く動くことを加味すると、前年以上の景気は見込める。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況とウクライナ情勢について、状況に大きな変化はないと想定する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・コンビニ商品も値上げが続いており、生活に密着した日用品や軽食、弁当類の販売は維持している。一方、エネルギー関連を含め家計への負担も考慮して、プラス一品の購入は減少しており、買上点数は伸びないと予想される。インフレで売上は数%上昇しても、実質の利益は横ばいである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の増加が、当市でも1日1000人を超えるのではないかと不安がある。また、原材料の価格高騰による商品の値上げが続くことにより、来客数減少の可能性があり危惧している。早くウクライナ情勢が落ち着くことを願っている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・ガソリン価格を始め、値上げの影響が続きそうである。新型コロナウイルスに関連する経済対策効果も限定的である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・極端な変化はないと考えたいところであるが、必ずまた新型コロナウイルス感染拡大の波は来ると予測している。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当・店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数の高止まりが、このまま続いていくと予想している。来客数も伸びる要素が見つからず、売上も増加しない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの影響もあるが、社会全体が沈んでおり、経済対策の効果を期待したい。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・洋服に対する価値観は、この2年で変わってしまった。以前は、外出用の見栄えの良い洋服がステータスであったが、このところ持っている洋服や手頃な金額の洋服等を着用する風潮になっている。高級服を扱っている当店は、非常に先行き不安である。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加による来客数減少の状況をみていると、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないことには、景気が好転することはない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・現状が、好転する要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（総務担当）	・新車の配給がなければ自動車販売店は売上が立たない。新年度から赤字が懸念される。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・まん延防止等重点措置の解除で人の動きは活発になっているが、ウッドショック等材料の値上げや海外からの商品や部品の値上がりで、前年末からの商品の値上げが止まらない。置き家具は、生活必需品のなかで購入順番が後であるため、今後売上が厳しくなる。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・新型コロナウイルスや物価高の影響で、厳しい状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数は少しずつ減少しているが、企業による大人数での宴会利用等はいまだ自粛しており、現状は少人数での個人利用がほとんどである。この需要が戻らなければ飲食業の本格的な売上回復とはならず、今月レベルの売上が続くようになる。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（販売担当）	・Go To Travelの再開とワクチン接種により、稼働率が上昇するかは不透明である。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・乗客数の増加に期待しているが、なかなか客は戻ってこない状態である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少しているように思えない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（統括者）	・携帯電話関連では、商品の販売及び利益計画を前年よりやや下げているが、4月の客の状況から5～6月も同じ傾向で推移する。
<input type="checkbox"/>	理容室（経営者）	・この業種は、固定客で成り立っており、新規の客も1度に増えるわけではない。また、若い客も少ないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・7月は、新型コロナウイルスの感染が落ち着き、まん延防止等重点措置の適用もない状況が継続することに期待をしている。
<input type="checkbox"/>	美容室（店長）	・特に売上が減少しているわけではないが、消費者はガソリンや食品の値上げを気にしており、景気が良くなるとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・状況が好転する材料がないため、景気は今と変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・新規感染者数も徐々に減少傾向にあり、客の増加要素になると考えている。一方、ゴールデンウィークの行動制限はしない方針のため、新型コロナウイルス第7波発生の懸念があり、経営の不安要素を抱えている。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・結果が3か月先に出るため、今月の景気と同じである。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（代表）	・良くなる好材料が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・金利動向を見据えながら住宅計画を前倒しで検討する客もいるが、今後における新型コロナウイルスの感染状況に対する不安もまだ残る状況でもあり、大きく景気は変わらない。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店〔青果〕（店長）	・商品の単価が低いにもかかわらず、売行きが悪い。これから当地も暑くなるため、当地産の野菜が少なくなり、また、輸送コストが掛かるため、商品の価格が高くなる。販売量が少ない上に頭打ちとなり、青果に関しては厳しい時期がくる。

▲	一般小売店〔精肉〕（店員）	・コロナ禍による外国人実習生の欠員や処理場での3密回避などが理由で、産地が人手不足となっており、商品によっては入荷が滞り、販売ロスを引き起こしそうである。
▲	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・様々な物が値上がりしており、利幅がない。仲卸のため値は上向きざるを得ず、その分売れなくなっている。ウナギのシーズンになるため、動きが少し良くなることを期待している。
▲	スーパー（総務担当）	・今後、様々な物の値上げが続き、価格競争が激しくなり、従来と同じ数を販売しても、売上はそれを下回る厳しい展開が予想される。
▲	スーパー（企画担当）	・物価高への懸念が取り除かれられない限り、節約傾向による販売数量の減少は止められないと推測する。
▲	スーパー（経理担当）	・食品の値上げやウクライナ情勢など消費支出に悪影響を与える要因も多々考えられ、新型コロナウイルスの影響と併せて先行き不透明である。
▲	コンビニ（店長）	・ウクライナ情勢が長期化すると、更なる経済悪化が予測される。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスやウクライナ情勢の影響で、供給の厳しい商品が増加し、市場が冷えている。また、急激な物価の上昇により、購買意欲も落ちている。
▲	家電量販店（店員）	・3月までは売上が良かったが、今月は動きがない。4月に入り、電化製品は全体的に価格が上がりつつある。そのため、客の買い控えが見受けられる。全体的に給与は上がらず、物価高になっており、来客数や販売も減少し、この状況が継続する。
▲	家電量販店（従業員）	・4月からの値上げによる買い控えの影響は少ないが、品薄や品切れが続いており、成約に結び付けることができない。以前からの半導体不足による影響に加えて、上海のロックダウンやウクライナ情勢等による影響であり、悪い材料が重なっている。
▲	その他専門店〔書籍〕（副店長）	・ゴールデンウィークによる人流拡大で、新型コロナウイルスの感染再拡大を懸念している。
▲	高級レストラン（経営者）	・ゴールデンウィーク後の予約状況は、5月に地元特産の食材があるが、新型コロナウイルスの感染が収束していないため、総会等での会社関係の動きがなく、予約が入っていない。
▲	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・販売数量は戻っているが、新型コロナウイルス発生前の水準までには戻っていない。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻の影響で原価高騰となっており、売価に還元できないため、業績に影響が出て景気はやや悪くなる。
▲	タクシー運転手	・エネルギー価格の高騰により、多くの物の価格上昇につながっていく。今後の消費への影響が不透明である。また、これに対し国が施策を立てていないため、景気は悪くなると考えている。
▲	タクシー運転手	・現状は回復しているものの、不安定な世界情勢によるガソリンやその他の物価上昇が予想され、景気の先行きは極めて不透明である。
▲	通信会社（企画担当）	・光回線エリアの拡大が一段落し、販売量の増加が見込めない。
▲	ゴルフ場（従業員）	・ゴルフ用品が入荷しないため、需要はあっても販売に結び付かない。さらに、穀物高や原油高、円安の影響で、厳しさは増すと予想している。
▲	競馬場（職員）	・原油価格の上昇により、燃料代や電気代の大幅な上昇が見込まれる。また、ロシアのウクライナへの軍事侵攻や中国の新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウンにより、先行き不透明であり、この状況の長期化が懸念される。
▲	美容室（経営者）	・2～3か月先は夏に入り、暑くなると売上は下がってくる。先行きは不透明であるため、景気回復はまだ遠いと考えている。景気対策に期待をしている。
▲	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染は落ち着いているが、ゴールデンウィークの人出による新規感染者数の増加状況次第で変わってくる。円安は輸出には良いが、輸出製品も輸入に頼っている。その費用が基幹産業の問題であり、景気が若干不安定になってくる。

	×	商店街（代表者）	・ロシア・ウクライナ情勢の影響により、ロシアからのエネルギーや穀物の輸入が制限され、物価が予想以上に上がる可能性がある。生活や工場生産のための電気代が徐々に上がると、消費者の行動も買い控えすることになり、景気の低迷が予想される。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・特別な取引先が見つかったわけでもなく、切り花主体の店のため、母の日のギフトが終わると夏になり、需要が落ちる傾向にある。
	×	乗用車販売店（代表）	・物価の上昇等で、景気が良くなるとは考えられない。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数について、大都市では減少しているようだが、当県では増加が止まらず過去最高の新規感染者数になっている。そのため、人の動きがなく希望がみえない状況である。
	×	設計事務所（所長）	・材料や製品単価の上昇があり、また、海外や国内情勢により材料等に影響が出るおそれが大きく、先行きは不透明である。
企業 動向 関連 (九州)	◎	*	*
	○	農林水産業（経営者）	・依然として新型コロナウイルスの感染力は落ちていないが、新型コロナウイルスとうまく共存していく雰囲気になっている。特に影響が大きかった外食が、すぐには完全な状態に戻らないにせよ、今後徐々に戻っていくと考えている。量販店や外食部門では5月に期待ができる。また、梅雨明けの7月はアウトドアの需要も含め大いに期待している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・具体的な話はないが、半導体の動きが良くなることは明らかであり、将来的には各メーカーにおいて材料や生産の状況が改善してゆく。改善の動きが具体的にになると、当社でもその対応をしていくことになる。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・車載や半導体関連の引き合いが強くなっている。
	○	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・客の状況では、まだまだ生産に余裕があり、今後徐々に増えてくる。
	○	建設業（社員）	・4年度は公共工事が減額になり、新型コロナウイルス対策に予算が多く計上される。現場でも、新型コロナウイルスの感染者を出さないように感染症対策を励行し、発注機関や元請業に迷惑が掛からないように実施している。早期の発注を期待している。
	○	金融業（営業担当）	・ゴールデンウィークを迎えるに当たり、観光や大型レジャー施設、商業施設への人出の増加が期待できる。そのため、特に小売、サービス業は期待ができる。しかし、3か月先もウクライナ情勢が解決していなければ、4月の状況と変わらないと推測される。また、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向であれば、一層状況は悪くなる。
	○	不動産業（従業員）	・オフィスビルの入居状況が、好調に推移している。
	○	広告代理店（役員）	・3か月予想が上向きである。
	○	経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数や問合せ件数が伸びており、企業が人材投資を積極化している。
	□	農林水産業（従業者）	・今後は、全国的に暖かくなり、全国的にも青果物は潤沢に出荷される見込みで、単価の安定を望む。
	□	家具製造業（従業員）	・世界情勢が不安視され、歯止めの利かない円安の影響もあり、原価の圧迫は不可避である。受注数での回復も期待はまだ薄く、当面は厳しい状況が続く。
	□	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・受注予定内容から判断すると、2～3か月先も変わらない。
	□	化学工業（総務担当）	・損益は、前年度並を想定している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注関係は、現状のまま推移するのではないかと心配している。新型コロナウイルスの感染状況とウクライナ情勢が落ち着くことを願っているが、焼き物は、夏場に掛け若干落ち込むのではないかと危惧している。今後の受注関係は、Webに力を入れなければいけない。
	□	電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連客からの見込みは変わらない。
	□	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・上期は半導体不足の影響で、急な非稼働設定等が多くなると予測される。
	□	輸送業（従業員）	・東欧の情勢が落ち着かない限り、現状は変わらない。

	<input type="checkbox"/>	輸送業（従業員）	・需要は引き続き好調である。特に健康志向により、プロテインや青汁の引き合いが国内外問わず多い。また、男性用化粧品の受注も伸びている。しかし、原料入荷が遅れ売上は現状と変わらない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（総務担当）	・円安が生活費に影響を及ぼしてくると予想され、物価高で景気が良くなるとは考えられない。
	<input type="checkbox"/>	通信業（職員）	・官庁が施主である営業案件数や受注予想額が伸びておらず、受注目標に対して厳しい状況となっている。
	<input type="checkbox"/>	通信業（経理担当）	・半導体不足の影響で、情報通信機器のリードタイムが長くなっているものの、受注自体は変化がないと予想している。
	<input type="checkbox"/>	金融業（従業員）	・公共投資が高水準で推移しており、住宅投資も持ち直しの動きが見られる。また、ウクライナ情勢が緊迫状態を強め、原材料費や食料品などの値上がりによる影響が多くの業種で見られる。一方で、まん延防止等重点措置が解除されたこともあり、飲食店、ホテル・旅館、旅行業では需要が回復している。
	<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	・収束がみえないコロナ禍とウクライナ情勢の混迷で閉塞感が強まっている。食品や身の回り品など幅広い品目で物価上昇が見込まれており、企業によるコスト負担の増加や、消費マインドの冷え込みが懸念される。
	<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	・サービス業では利用客の更なる増加が見込まれるが、企業収益を圧迫する資源や素材価格は高騰し、部品や材料不足が2～3か月後も続くと予想されるため、全体の景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔広告〕（担当者）	・好材料がないため変わらない。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（社員）	・物価上昇が購買意欲や購買点数に表れ、財布のひもを締めることになる。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（社員）	・この数年、内向的かつ消極的傾向が強くなっている。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・国際情勢の不安感から円安傾向になっており、また物価上昇もあることから、現状より状況が若干悪くなる可能性がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	・原料不足に加え、原料や資材の価格が高騰し、今後の収益に影響が出ると予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金属製品製造業（事業統括）	・世界的な部品不足による生産体制への影響や、材料やエネルギーの高騰、ウクライナ情勢もあり、先行きが見通せない状況である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先における半導体製造装置の部品や部材に調達できない物が発生しており、生産調整をしなければならない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金融業（営業）	・消費は、緩やかな回復傾向にあるが、物価高やウクライナ情勢等、マイナス要因も多く、今後に影響を与える。
	<input checked="" type="checkbox"/>	広告代理店（従業員）	・ワクチン接種で新型コロナウイルス感染の重症化が抑えられたため、現在では感染状況が一服しており、今後は徐々に正常に戻ると予想される。しかし、ロシアのウクライナ侵攻以降、エネルギーや穀物等の価格高騰及び急激な円安の進行で、当面景気は若干悪くなる。
	<input type="checkbox"/>	繊維工業（営業担当）	・賃金の上昇や物価上昇による影響を懸念している。適度のインフレに戻ることを望んでいる。
雇用 関連 (九州)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・お中元時期になり、既存の客から問合せがある。現在は新型コロナウイルス感染症対策による規制がないため、期待をしている。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。現状でも一定数の感染者は出ているものの、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等には至っておらず、新型コロナウイルスと経済との両立が一定レベルで進みつつある。ここ2年間で中止されてきたイベントも再開の報道が相次ぎ、新聞広告の出稿にもつながりそうである。ただし、強力な新型コロナウイルス変異株の発生も考えられるため、予断を許さない状況ではある。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス発生による景気の落ち込みからの、今後の業績回復を見込み、新卒や中途の求人が増え始めている。また、リストラや定年退職などを機にシニア層で起業する人も多く、急な景気回復は難しいが、新しい動きとして期待ができる。

□	人材派遣会社（社員）	・求人数は増加しているが、状況に応じてリモートワークができる求人数が少ないため、求職者の流動性が生まれず、職場環境により固定化されている。職場環境を変えることに大きく踏み込まない限り、現環境下で回復することは難しい。
□	人材派遣会社（社員）	・企業側からの求人数も少し増えつつあるが、人選がなかなかひも付かず、その結果、稼働数は変わらない状況が続いていく。
□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加の兆しがあるため、急な展開は望めない。
□	求人情報誌製作会社（編集者）	・上半期は積極的に仕掛けていくべきところであるが、新型コロナウイルスに対する不安がまだ残っている。
□	職業安定所（職員）	・4月の新規求人数は、前年を多少上回りそうであるが、新型コロナウイルスの影響による休業相談や雇用調整助成金の申請件数は、1月以降高止まりしており、70件以上になっている。
□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況で景気変動しているため、今後も変わらない。
□	民間職業紹介機関（職員）	・ここ2年を比べると回復傾向にはなっているが、コロナ禍は継続しており、現時点で採用環境が改善していることを考えると、これ以上良くなる原因が見当たらない。
▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染の再拡大で、新規感染者数が高止まりしている。また、世界情勢により原油や原材料費が高騰している。このため建設資材卸業者は、原材料費の高騰で収益の悪化を懸念している。今後の景気が好転する好材料が見当たらない。
▲	学校〔大学〕（就職支援業務）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大はピークを超えたが、いまだ新規感染者数は高い水準であり、直近では再拡大している。また、ウクライナ情勢の着地点がみえず、エネルギーや原材料の価格高騰につながる。この状況が続けば日本経済に大きな打撃を受け、今後の企業求人数にも影響が出てくる。
×	—	—